

地域共創

～宙テクノロジー～

5/11 (水)

【出席】

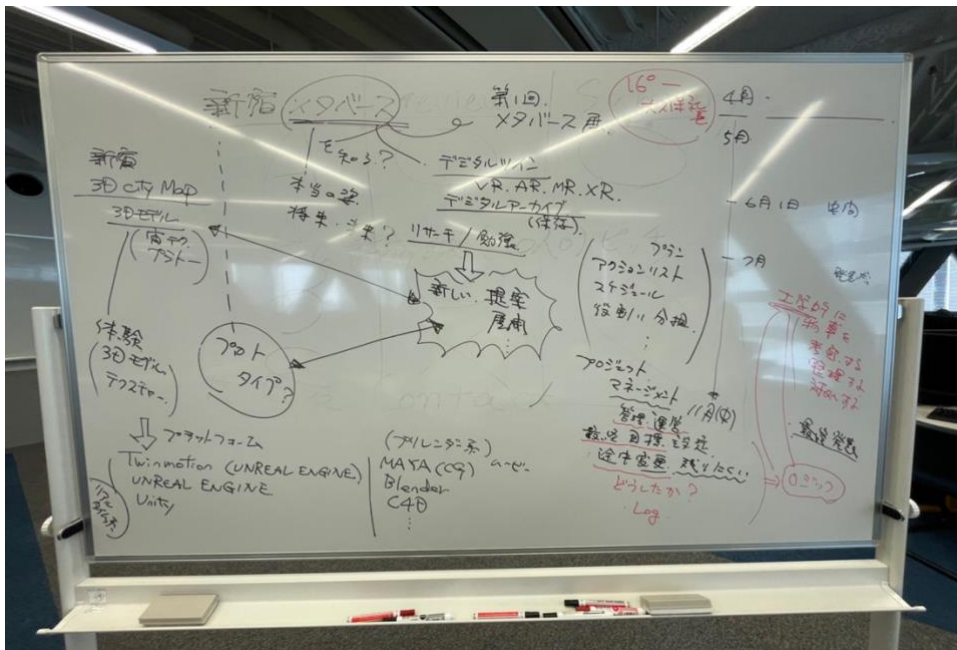
- DC2 加藤大洋
- DC2 大友政弥
- DG2 亀水覚登
- DG2 杉山諒真
- IR2 小林洋二郎
- IS2 パトリアルカノア

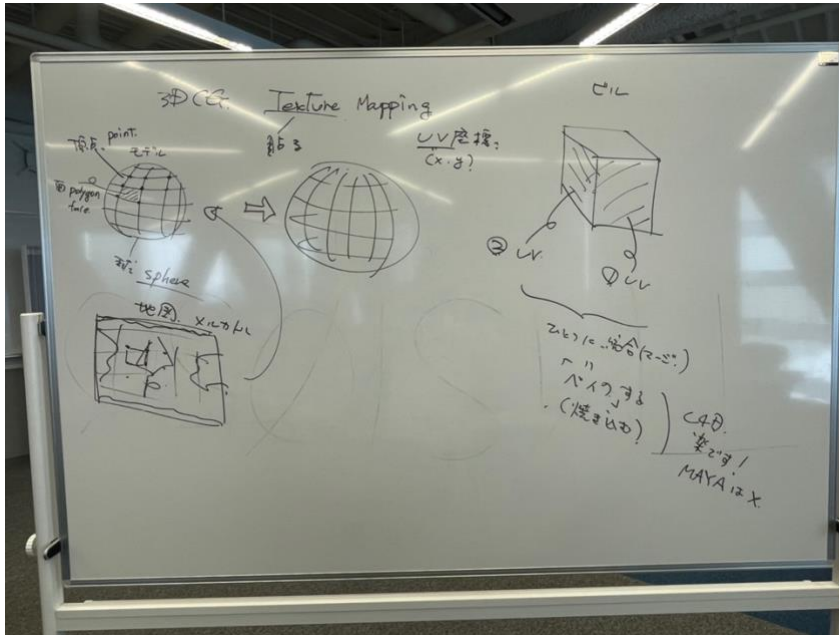
【早退】 13 時頃

- IA2 栗原諒

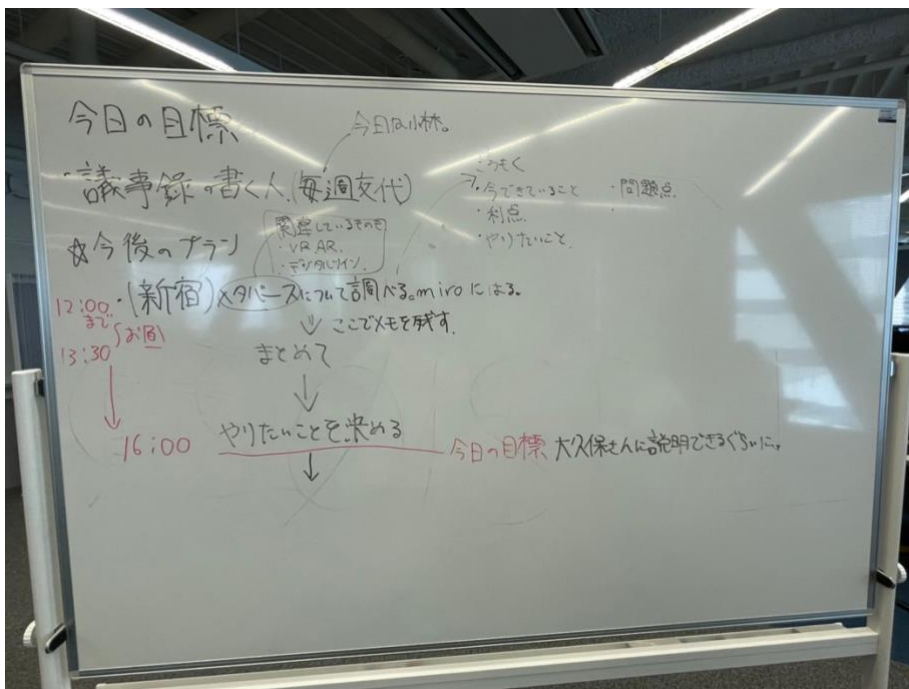
【全体の流れ】

10:00～渡部先生の話





10:40～話し合い開始



① 「議事録はどのようにして作成していくのか」

- ・毎週交代制で作成していくことに決定

② 「どこで意見交換をしていくべきか」

- ・各々の PC から随時意見更新の行える Millo に決定

*意見が綺麗に並べられているように見失ってしまうこともあるので注意

③メタバースについて調べる(～12:00 までを予定)

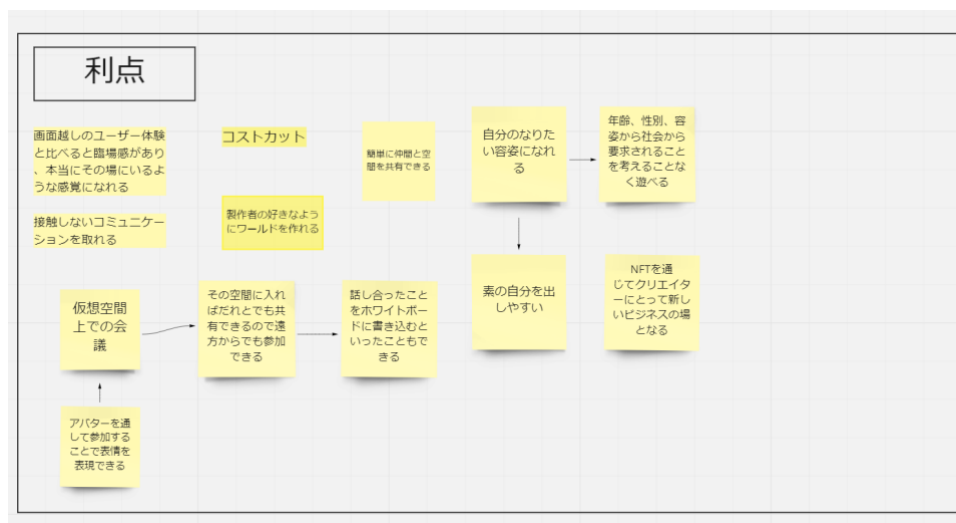
[変更後～14:00 まで/理由：出た案が少なかった為]

(ただ調べるだけでは前回(第一回)と同じ結果になりそうなので、調べる項目を事前に決めた)

[調べる項目]

- ・今できていること

・利点/問題点



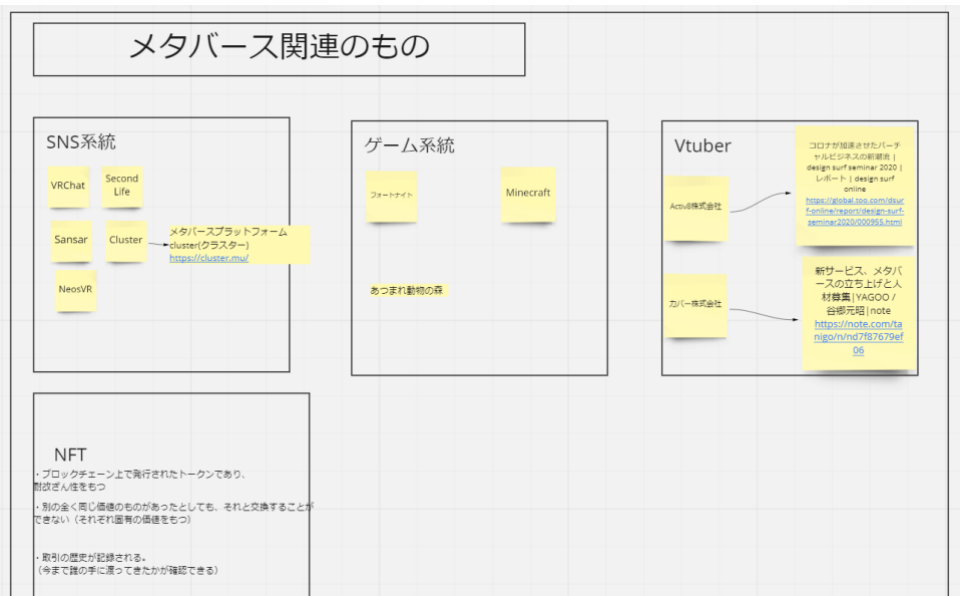


• やりたいこと



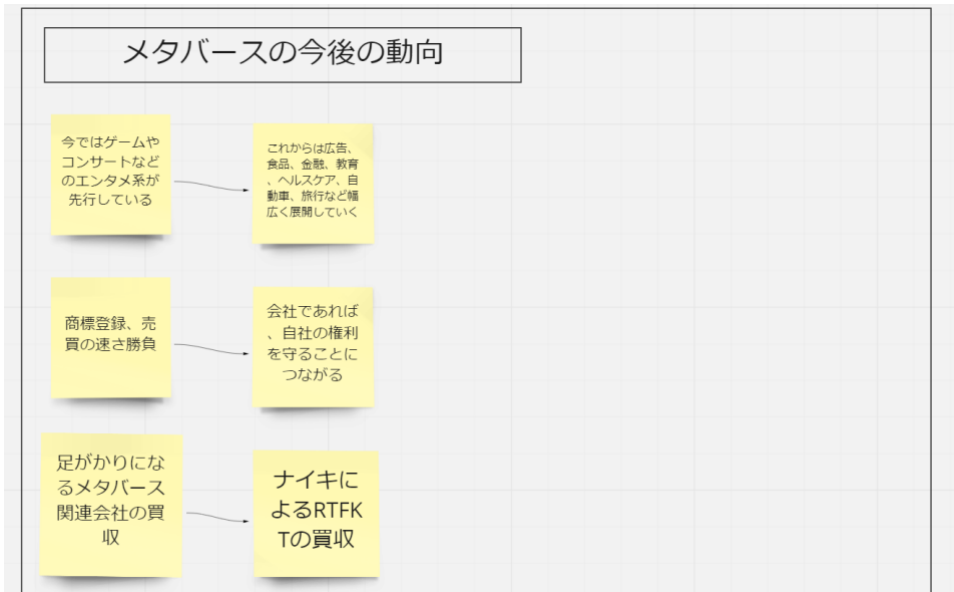
その後意見を出していく中で必要だと感じた項目を随時追加

• メタバース関連のもの



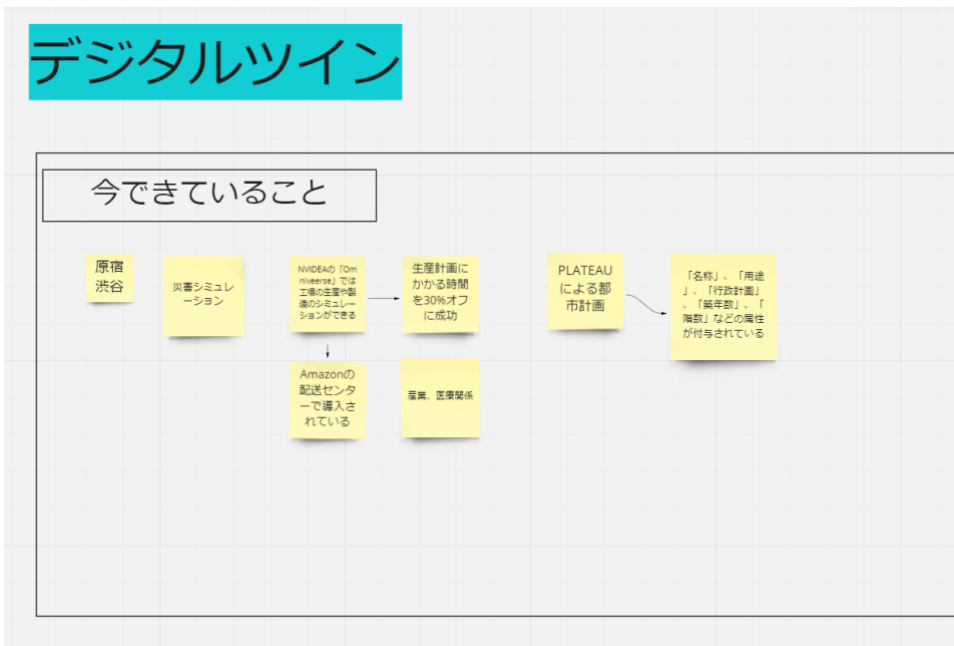
・メタバースの今後の動向

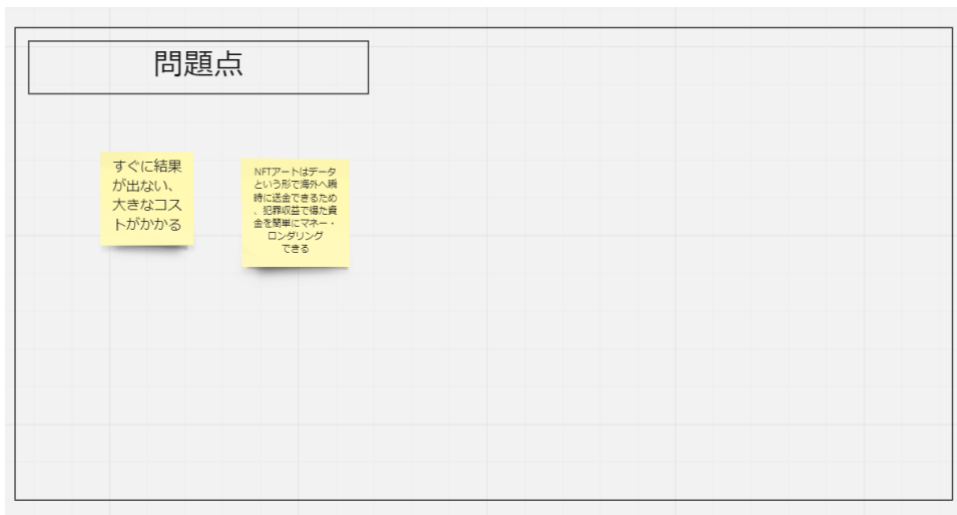
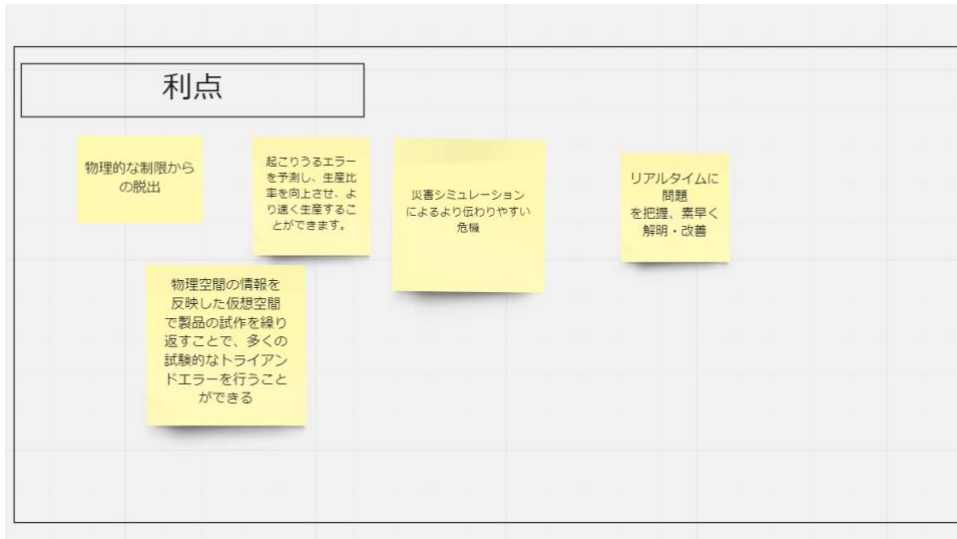
(↑今出来ていることについての意見を出した後、今後利用する環境がどのように変化していくのか調べたため)



・デジタルツインについて

(↑デジタルツイン寄りの意見も出てきた為)





④「やりたいことについて」 14:10～

(明確な目標が存在するわけではないので、全員でチームとしてやりたいことを出し合った)

・Vtuber と対面／ライブ観戦ができるようなサービス

ゲームの大会に出ているプロチームの见たい選手の視点のみを視聴可能

(多くの配信サイトでは自動で他の選手に切り替わってしまうため)

全員が特等席で視聴できる

(有料のライブに参加した際に、アバターであれば全員が最前席で鑑賞が可能になると考えた為)

自分のアバターでほかの人と一緒に時間を共有出来る

(観戦・視聴している興奮や喜びをその場で共有することが出来る)

・ライブ配信(ゲームの大会／Youtube)やその観戦

自分が応援しているプロチームの见たい選手の視点のみを視聴することができる
(多くの配信サイトでは、見ることのできる選手の視点は自動で切り替わってしまうため)

・ゲーム (ゴルフ/サバイバルゲーム)

実際に体に特殊な器具を装着し滑る床の上で全身することで、操縦者の位置は移動せずに、仮想空間内のキャラクターのみが移動するデバイスは存在している。

リアルで一式揃えようとするとかかなりの総額となってしまう敷居の高さを解決できる可能性がある。(ゴルフ/サバイバルゲームなど)

・その他

売り上げを出すために使用できるのでは？

NFT

15:00～煮詰まった

16:00～【ここまでの経過を渡部先生に聞いていただいた】

Vtuber がライブを行える場を作ったとして、既存の配信との差別化が出来なければ流行らないのではないかな。

Q. どうしたら Vtuber がこちらのプラットフォームに来てくれるのか。

A. 過去に1分間だけ Vtuber と会話できるという催し物があったが、5000円にも関わらず即完売していた。このように、Vtuber が身近に感じられる機会には一定数の需要が存在するといえる。メタバース空間で3DのVtuberと自らのアバターでやり取りできる環境があれば成功するのではないかと考えた。そしてこれは Vtuber がこちらのプラットフォームに参入してくれる理由にもなりえるのではないかと考えた。

自分の分身(アバター)を用いて何をするのか。

どんな空間で? どんな体験を?

例: 新宿エリアの商店街(物販)

【ここまでの経過を大久保社長に聞いていただいた】

一新宿との結びつき

ゲーム・旅行は新宿との結びつきが分かる

ライブ・Vは新宿が関係ないのではないかな。

事業起こすときビジネスを始める意味は、まずはお金。これがヒエラルキートップ
大久保社長の会社であれば3次元の会社だから、まずは3D分野で考える
私たちは何がヒエラルキートップ(目的)になるのか？

DEのソフトに触れることがヒエラルキートップになるのでは？(社長意見)

やりたいことと新宿との結びつきに関してはもう少し議論していった方がいい

↓

他と比べた時の新宿の強み、ならではのことは何か？

・新宿だからできる事に関してもっとブレイクダウンしてもいいのでは？

新宿に多いのは22～60代くらいの会社員

この人たちを対象に何が刺さるか。

意見①：ミニゲームをクリアするとお店のクーポン券が手に入る

(ゲーム例)

- ・パックマンなどミニゲームをクリアしてクーポンがもらえる
- ・建物の一部が切り抜かれた写真から対象の建物を探して、見つけたらクーポンなど

意見②：転職・就職の情報がイベント形式で手に入るような場はどうか

「社長の経験と意見」

他社/他人とのマッチングが多い(シャイニングビル？が多い)

社長は交流を求めて新宿のエクササイズ？に来ていた。

OLの方であれば昼休憩に走れる。皇居や新宿であれば大学付近など。(池袋や秋葉原では無理なこと)

ギャラリーじゃ売れない物が、デパートだと売れる(来る人の層が違う)

このようにバーチャルの新宿を作る際にどのようにしたらワクワクしたものが作れるか。どうやったら長く惹きつけられるか(継続性)

狙いは若者だけじゃなくてもいい

最終結果として何か提出できる形のあるものは作らなくてはいけない

技術面であと8か月で可能なのは、ライブ配信とVtuberではないか？(社長意見)

Q,それぞれの興奮・感情をどうやってアバターを使用するメタバース上で共有するのか(大久保社長)

A,例として挙げられるものはVRチャット。VRの仮想空間上で様々な国の人々がコミュニケーションを取ったり、同じゲームをしたり、配信の観戦を行い盛り上がっている。

- ・やはりゲームの大会は×？(新宿関係ない)

でもライブ配信自体は使えるのでは？

じゃあ何に対して（ライブ配信を）使うのか。

社長例：料理を作っている風景を配信して、その場で買い手を見つけるシステム

個人で気軽にできるテレビショッピングのようなもの

（このアプリは存在する中国のアプリ）

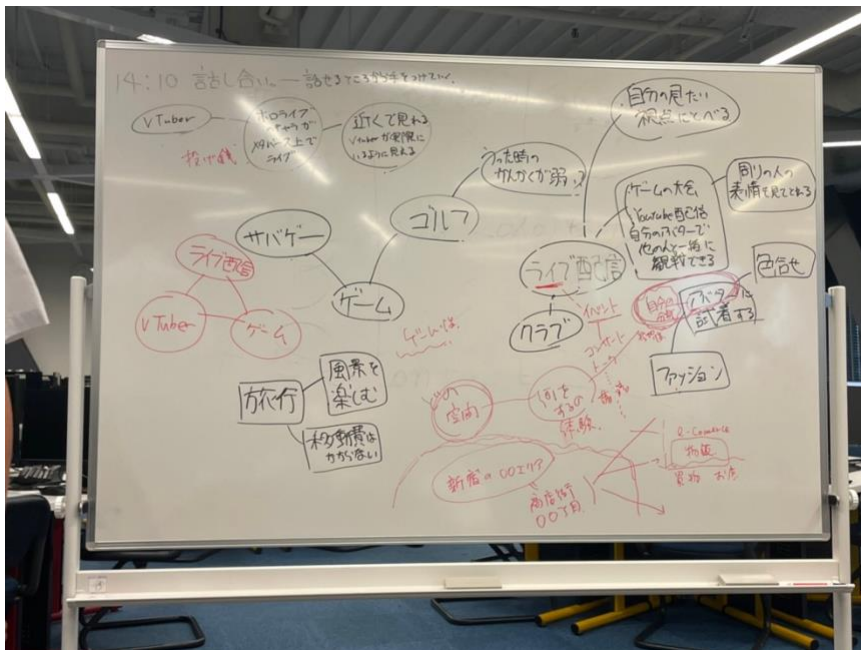
【ここまでの話し合いを重ねて】

- ・3DのVと自分のアバターが直接会うことができる場を作る。

投げ銭があったり、一分間の会話する権利だけで5000円払ったりなど、お金の流れは多い

マネタイズできている上に需要と供給がある。ありなのでは？

ライブ-Vtuber-ゲームは全部使える。



【次回】

ライブ-Vtuber-ゲームを軸に考えるとして、新宿と結びつきのあるどのような場を整えるのか。

- ・新宿との結びつきと内容に関する議論（今日の内容を踏まえて）
- ・スケジュール/アクションリスト作成